

育種事業課題名：てんさい新品種候補「HT55」の概要（722511, 722561）

担当部署：北見農試・研究部・麦類畑作グループ、十勝農試・研究部・豆類畑作グループ、  
 中央農試・作物開発部・作物グループ、上川農試・研究部・水稻畑作グループ、  
 北海道農産協会

キーワード：てんさい、根中糖分、糖量、褐斑病抵抗性、根腐病抵抗性

### 1. 特性一覧表

系統名：てんさい「HT55」 組合せ：「HI0998」／「HI0205×HI0574」

特性：長所 1 根中糖分がやや高く、糖量が多い。

2 褐斑病抵抗性が、“かなり強”である。

3 根腐病抵抗性が、“強”である。

短所 1 抽苔耐性が“やや強”で、対照品種「ライエン」より劣る。

普及見込み面積：令和8年度500ha、令和9年度以降3,000ha

試験場所	北見農試、十勝農試、中央農試、北海道農産協会		
調査年次	令和5～7年		
品種・系統名	HT55	アマホマレ (標準品種)	ライエン (対照品種)
倍数性	二倍体	三倍体	二倍体
種子の胚数	单胚	单胚	单胚
胚軸の赤色個体	多	やや多（多）	中
草姿	開平	中間	やや開平
葉長	短	中（長）	中
葉数	中	中（やや多）	中
葉色	やや濃緑	緑	やや濃緑
葉形	やや披針	橢円	披針
葉面縮	やや少	少	やや少
葉身の大きさ	やや小	中（やや小）	やや小
葉柄長	短	中（やや長）	長
葉柄の太さ	中	やや太（中）	やや太
根形	円錐	やや短円錐	やや短円錐
根重 (t/10a)	8.18 (110)	7.45 (100)	8.01 (108)
根中糖分 (%)	15.60 (105)	14.89 (100)	15.03 (101)
糖量 (kg/10a)	1,274 (115)	1,110 (100)	1,207 (109)
抽苔耐性	やや強	強	強
そう根病抵抗性	強	弱	強
褐斑病抵抗性	かなり強	中	やや強
根腐病抵抗性	強	弱	弱
黒根病抵抗性	やや強	中	やや強

注1) 形態的特性は北見農試の直播栽培による成績（「アマホマレ」の括弧は品種登録の特性）。

注2) 根重、根中糖分および糖量は、北見農試、十勝農試および北海道農産協会（3か所）のべ15か所平均で、括弧内は「アマホマレ」に対する百分比。

注3) 特性検定は抽苔耐性（北見農試、令和6, 7年）、そう根病抵抗性（北見農試、令和5, 7年）、褐斑病抵抗性（十勝農試、令和5～7年）、根腐病抵抗性（十勝農試、令和5～7年）、黒根病抵抗性（中央農試、令和5～7年）の成績。

## 2 特記すべき特徴

標準品種「アマホマレ」よりも根中糖分が高く、高糖分型である。

「ライエン」と比較して、根重は並で、根中糖分はやや高く、糖量は多い。抽苔耐性は“やや強”で、「ライエン」よりやや劣る。根病抵抗性は、「ライエン」並の“強”である。褐斑病抵抗性は“かなり強”で、「ライエン」の“やや強”に対して優る。根腐病抵抗性は“強”で、「ライエン」の“弱”に対して優る。黒根病抵抗性は、「ライエン」並の“やや強”である。

## 3 優良品種に採用しようとする理由

根中糖分は、てんさい生産物の取引価格を決定する重要な指標である。しかし根中糖分は、生育時の高温による生理的影響や、高温多湿で多発する褐斑病の影響により、低下することが知られている。特に近年の温暖化により、これらの被害が助長され、根中糖分の著しい低下が引き起こされている。また根腐病は高温条件下で発生の多い病害で、多発すると根重、糖量の低下につながるため、近年の温暖化によりリスクが高まっている。

平成29年に優良品種認定された「ライエン」は、根中糖分が高く、根重、糖量が多いため、主要栽培品種として広く栽培されてきた。しかし、褐斑病抵抗性が“やや強”で不十分である上、根腐病抵抗性が“弱”であるため、近年の温暖化条件で病害が多発する場合があり、栽培面積も減少傾向にある。これらの対策として、生産現場からは、「ライエン」同様に根中糖分が高く、病害抵抗性が向上した新品种が求められてきた。

「HT55」は、「ライエン」より根中糖分がやや高く、糖量も多い。加えて、褐斑病抵抗性は“かなり強”、根腐病抵抗性は“強”であり、「ライエン」と比べ優れる。

以上のことから、「HT55」を「ライエン」と置き換えて普及することで、てんさい生産の安定化と生産者の所得向上に大きく寄与できる。

## 4 普及見込み地帯

北海道

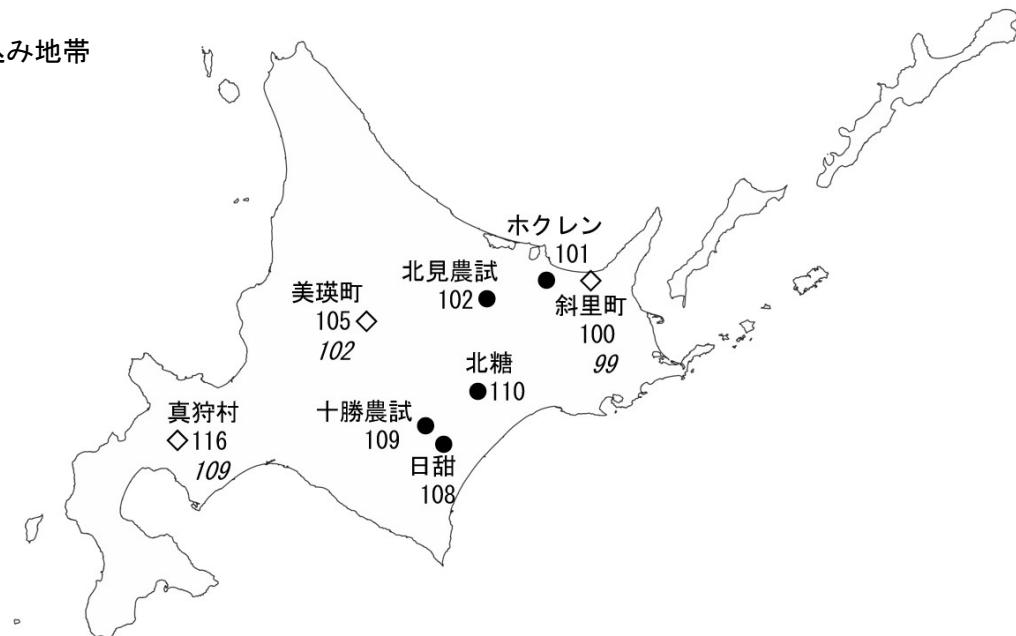


図 各試験地における「HT55」の糖量比 (%)

● : てん菜輸入品種検定試験  
「ライエン」対比%  
(令和5～令和7年、3か年平均)  
北海道農産協会の試験地は、  
日甜 : 帯広市  
ホクレン : 大空町  
北糖 : 本別町

◇ : 輸入品種現地検定試験成績  
「アマホマレ」対比% (上数値)  
各地区代表品種対比% (下数値、斜字)  
(令和6～7年、2か年平均)  
地区代表品種は、真狩村：「ライエン」  
美瑛町：「カーベ2K314」  
斜里町：「パピリカ」

## 5 栽培上の注意

- 1) 抽苔耐性が“やや強”であるため、直播栽培においては適期播種に努め、移植栽培における早期播種や育苗時の過度の低温による馴化は避ける。